

国際福祉機器展 2021（厚生福祉部研修見学会）

11月10日（水）、高津第二地区社会福祉協議会の富田会長を含め、総勢15名で「国際福祉機器展 2021」の見学に行ってきました。

会場には、170を超える出展社、約5,000点の福祉機器が集まり、各ブースでは使い方の説明なども丁寧に行われ、ビデオを見たり、最新の福祉機器を装着して実際に体験することなどもできました。



～高津区あんしんセンターのご案内～

あんしんセンターでは、区内の認知症高齢者、身体障害、知的障害、精神障害をお持ちの方の財産や権利を守り、安心して日常生活を送れるよう支援します。

① 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用手続き、日常的な金銭管理が困難な方を支援します。利用には要件がありますので、詳細はお問い合わせください。



② 成年後見制度利用促進事業

区内在住で判断能力が不十分な方が、成年後見制度を利用するための相談や手続きについて支援します。また、区内在住の被後見人等の親族後見人となっている方のご相談にも対応します。



◆各事業の内容や手続き方法等、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

→ 高津区あんしんセンター TEL: 044-812-5833

年末たすけあい募金が12月1日から始まります。（赤い羽根共同募金運動は10月1日から開始）

年末（歳末）たすけあい運動は共同募金活動の一環として全国で実施されています。

赤い羽根共同募金運動（10/1～）で集まった募金が「県内」の地域福祉の向上へ活用されるのに対し、年末たすけあい運動（12/1～）で集まった募金は『募金をした地域（高津区内）』の地域福祉の向上を目的に活用される、大変地域性の高い募金運動になります。募金方法には、高津区社会福祉協議会の窓口へ募金をお持ちいただくか、地域の町会・自治会等のご協力により行っている戸別募金があります。高津区内の地域福祉の向上に、皆様のご協力をお願いいたします。



賛助会費ご協力ありがとうございました。

この度、地域の皆様に賛助会員のご協力をお願い致しましたところ、多くの方々に賛助会員に加入して頂き厚く御礼申し上げます。

お寄せいただきました賛助会費は社会福祉事業の推進に役立たせて頂きます。



地域包括支援センター

介護、福祉、健康、医療など
様々な相談の窓口です。

- 溝口地域包括支援センター（820-1133）
住所：高津区溝口 1-6-10 3階
- 樹の丘地域包括支援センター（820-8401）
住所：高津区久地 4-19-1
- リ・ケア地域包括支援センター（865-6238）
住所：高津区向ヶ丘 130-9

【編集後記】今年の夏は新型コロナの感染者が過去最大となり、公式行事は殆ど中止となりましたが、賛否両論あったもののオリンピックとパラリンピックは無観客で開催され、競技をみて感動された方も多かったと思われます。その裏では、多くのボランティアの方々の支えがあり、選手たちも満足して帰国されたそうです。いかに、人への思いやりや人とのふれあいが大切かを再認識いたしました。最近では感染者も激減しており行事等も徐々に再開されてきましたので、皆様とお会いできるのを楽しみにしております。（企画部・亀石）

ふれあい 第59号

高津第二地区社会福祉協議会

令和3年12月1日発行

発行人：高津第二地区社会福祉協議会

会長：富田 誠

所在地：高津区溝口 1-6-10 てくのかわさき 3階

連絡先：TEL. 044-812-5500 FAX. 044-812-3549

みまもる、つながる、地域の輪

高津第二地区社会福祉協議会 副会長
（高津老人いこいの家 運営委員長） 柳 健四郎



高津区社会福祉協議会（社協）に携って20年位になります。近年、特に少子高齢社会が急速に進み、社会経済状況の変化に相まって、福祉を取り巻く環境は多様化しております。

社協と住民自治の振興発展を目的とする住民組織は、車の両輪の様な関係にあります。時折り「社協はどういう所？」、「どんな組織ですか？」、「どのような活動をするの？」と聞かれます。このようなことがあった場合、明確に説明しなければいけないと思っています。

「社協」は町内会・自治会の皆さんをはじめ、民生委員・児童委員、学校教育者、保護司会の皆さんなどの団体が中心となって「地域の仲間づくり」、「孤独の防止」、「見守り」等を目的に、ふれあい会食会・ミニデイケア、歌と声でのコミュニケーション等、それぞれ地域の実情に応じて、様々な活動を展開する福祉の拠点と言えるのではないかと考えています。

それには諸先輩の方々をはじめ、仲間・同僚たちとの立場を考え一緒に行動・活動することが大切なことと常々考えています。

障害を持った人、寝たきりの高齢者や一人暮らしの方々など、多くの方々が共に幸せに暮らしてゆくには、私共一人ひとりが思いやりの心を持ち、お互いに手を差し伸べ合う「福祉の心」を持ち続けることが特に大切と考えます。

新型コロナウイルスが発生してから2年目を迎えようとしています。人と人との交流・活動・ふれあいを断絶している今日は最悪の状況です。自分自身の健康を守り、地域のつながりを深め助け合いの精神を忘れずに皆さま方のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

「今年度中止となった事業・イベント」(令和3年12月1日現在)

新型コロナウイルスの影響により、例年、高津第二地区社会福祉協議会の各部会で実施している下記の事業が、今年度は中止となりました。来年度以降、感染状況が落ち着き、安心して実施できるようになりましたら再開いたします。

【企画部】 ・ 県外研修会（例年10月下旬に実施）

【厚生福祉部】 ・ 合同お花見会※ふれあい会食会（例年4月に実施）
・ 家庭での介護教室（例年6月～7月に実施）

【青少年福祉部】 ・ 夏休み親子のお楽しみ会（例年7月下旬に実施）
・ 親子いもほり体験（例年10月下旬に実施）
・ クリスマスお楽しみ会（例年12月に実施）

来年こそ一緒に！





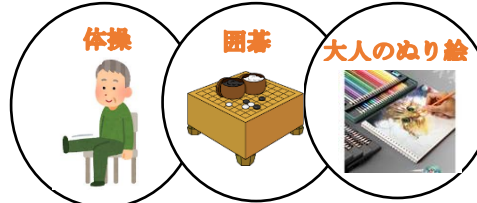
皆様の身近にいい家があります。
今回ご紹介するのは、高津・上作延・梶ヶ谷いこいの家です。60歳以上の方が利用できる、基本無料の余暇施設です。気軽にお立ち寄りください。
また、以下に紹介している活動以外にも様々な活動があります。気になる活動の参加要件などは、各いこいの家に直接お問い合わせ下さい。

高津老人いこいの家

(高津区久本 3-6-22 ちどり 2階)

電話：044-811-5120

溝の口駅から10分ほど歩けば、イトーヨーカドーの先の公園隣にある3階建物内(ちどり)の2階が高津いこいの家になります。利便性が良いので多くの方にご利用頂いています。



★アピールポイントは、囲碁や体操・書道・大人のぬり絵・気功・体操等様々な活動が盛んです。ご利用される皆さんは、直接外階段から2階のいこいの家まで上がって来られます。「足腰が鍛えられるわね」と暖かいご意見も頂いておりますが、エレベーターの設置がないので、皆様には日々ご不便をおかけしております。

★もう一つのおすすめポイントは、建物全体が緑に囲まれているのが特徴的で、窓から森林浴が楽しめます。



上作延老人いこいの家

(高津区上作延 1142-4)

電話：044-865-1633

身代り不動尊から程近い所に上作延いこいの家があります。2階にはこども文化センターが入っており合築施設となっております。



★アピールポイントは、お天気の日には、園庭(こども文化センター)で毎週金曜日、9時30分～10時までの30分間公園体操を行っております。雨の日には中止になりますが、広い園庭で広々としたスペースが確保できるので、密になる心配もありません。自由参加でその日に参加出来ます。ご参加お待ちしております。

★また、地域の高齢者を対象にした「ミニデイ」が開催されています。今年はコロナウイルスの影響で中止が続いておりますが、影響が出る前は、地域のボランティアの方々を中心に毎月開催され、ゲームや合唱、手作りのお食事で親睦を図る楽しい企画です。中止が続き、参加を心待ちにされている皆様には申し訳ありません。秋以降に再開予定です。



梶ヶ谷老人いこいの家

(高津区梶ヶ谷 5-8-27)

電話：044-853-5185

梶ヶ谷駅から、鷺沼駅方面のバスに乗り約5分(西福寺前バス下車)、そこから5分ほど歩いた所に梶ヶ谷いこいの家があります。



出入り口が1階のかじがや障害者デイサービスセンターと共用になっているので、少し分かりづらいかと思いますが、2階部分がいこいの家になります。

★アピールポイントは、いこいの家は2階ですが、エレベーターが完備されているので、階段が苦手な方でも気軽に行けるとご好評頂いています。また、利用者様からは、「部屋がきれい」とおっしゃっていただけるのも自慢のひとつです。

★活動からは、自主団体による「コーラス」が盛んに行われています。コロナ禍ですので、人数制限や検温・消毒等にご協力頂いています。他にも、体操や運動系に参加される方が多く、健康を意識されている方が多いのも特徴的です。



「創立50周年を迎えました」

梶ヶ谷小学校 校長 井上 恵子

「未来に心をつなげよう 笑顔で進め梶小号」

このスローガンには、子どもたちが考える大切な心「温かな心・やさしい心・思いやりの心・気遣う心・相手を大切に作る心・家族や友達と結びつく心・前向きに進む心・感謝の心」を未来へつなげたいという思いが込められています。

11月20日、創立50周年記念式典を行いました。梶ヶ谷小学校といえば「獅子舞」。式典では獅子舞を中心とした表現活動を行いました。江戸時代より地域に伝わる獅子舞を、創立30周年から「梶ヶ谷しまい」として児童が受け継いでいます。3年生になると、いわれを調べたりお囃子や舞いの練習をしたりして学習を行っています。そして4年生では、入学式や地域の夏祭り、フェスティバル、梶ヶ谷神明社の祭礼で地域の方々に向けて披露をします。このように地域の歴史と伝統・文化を引き継ぐことにより、地域貢献ができればよいと思っています。

令和3年度は「読書のまち・かわさき」読書活動優秀団体に選ばれました。図書ボランティア・学校司書・教職員三者が連携した活動を行っているということでした。子どもたちにたくさんの本を読んでもらいたい気持ちで取り組んできた成果です。

今後も、心豊かな子どもたちの育成のために力を尽くしてまいります。



竹の会

～地域で活動するボランティアグループ～

「竹の会」は、平成27年に高津第二地区社会福祉協議会・青少年福祉部の有志で立ち上げた南京玉すだれとマジックのグループです。当時の青少年福祉部長の本多円成さんが仲間を募り、現在は7名のメンバーで活動しています。

高津区内の高齢者の会食会やサロン、老人ホーム、障がい者や子ども向けイベントなどからの要請を受け出演しています。コロナ禍の前は月1回のペースで出かけていましたが、現在は開店休業の状態です。一日も早く安心して出演できる日が来ることを願っています。

南京玉すだれは中国の「南京」とは全く関係がなく、江戸時代に越中(富山県)で生まれた大道芸です。当時世界最大の都市であった「南京」の名前を付け、世間に印象付けようと考えたものです。南京玉すだれは56本の竹を糸で結んだ「玉すだれ」を用い、いろいろな形に変化させ見せる伝統芸能です。「ア さて、ア さて、さては南京玉すだれ～」の掛け声に乗って目の前に広がる演技に、子どもから高齢者までお楽しみいただけます。また、マジックは本多さんのユーモラスな語り口で、皆さんを不思議な世界にお誘いします。

南京玉すだれを始めたころは失敗するたびに気落ちしていましたが、失敗しても爆笑が起こり、かえって喜んでもらえました。それからは気が楽になり、肩の力を抜いて演技ができるようになりました。

メンバーには高齢者が多いのでなかなか上達しませんが、一生懸命頑張っただけでも皆様は妙技と笑いをお届けしてまいります。

